



信頼される看護職の育成に
関わらせていただくにあたって



教育師長
新野有美

2022年4月より土田病院 看護部教育師長として勤務させていただいている新野有美と申します。この度、長く勤務した看護学校を退職し、ご縁があり、教育を担当する機会をいただきました。

当院では、今年、三名の新卒看護師が採用となり、「学生」から「看護師」に成長する過程と一緒に過ごし、見守り、悩み、喜びを共にしている途中です。同時に「後輩を育てる」中堅の看護師が、どのように新卒看護師のお手本になればいいのか悩んだ時の相談相手として、頭を悩ませながらも充実した毎日を過ごしています。

看護師になって三十年以上経ちますが、医療や看護は日々変化し、私が新人だった時の知識が通用しないことも多々あり、患者さんから教えていただくことも多くあります。今はスマートフォンで調べればすぐに答えがわかってしまう世の中ですが、その分、忘れるのも早い気がします。一生懸命に何冊もの本を調べてようやく答えにたどり着くという苦労がないからでしょうか、印象に残らないようです。答えを伝えてしまうのは

簡単ですが、若いうちから「考える」というプロセスや学ぶ楽しさを身につけてもらいたいのので、質問をしたり、一緒に考えたりしながら、理想である「頼りがいのある優しく癒される看護師」の育成を目指しています。そのためには私自身が学んでいるところを見せなければと、新しいことにも挑戦するようにしています。その挑戦は、すべて看護に、そして教育に活かされ、少しでも質の高い看護の提供へと結びつき、患者さんに還元されていくと信じています。

私は看護学校の時に「看護にはこれで完璧ということはない」と言われて育ちました。日々鍛錬し、患者さんに「今日はこの人が担当なんだ。じゃあ安心して過ごせるなあ」と思っていただけのような看護師をひとりでも多く育てることが、私の夢であり、役割であると考えます。看護師としての人生の集大成として、地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる看護職員の育成に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

地域医療連携センター

相談受付時間/9:00~17:00まで(月~金)

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)がおり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。

地域連携

他の医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

医療相談

経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でもご相談も構いません。

外来診療時間		[平日] 9:00~12:00・13:00~17:00				
		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	外来	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00	9:00~12:00
	専門外来	9:00~12:00 循環器内科 専門外来	-	-	-	-
午後	外来	13:00~17:00	13:00~17:00	13:00~17:00	13:00~17:00	13:00~17:00
	専門外来	-	14:00~17:00 整形外科 専門外来	-	14:00~17:00 整形外科 専門外来	-

土曜・日曜・祝日は休診いたします。



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL
札幌市1次・2次救急指定病院
TEL:011-531-7013
〒064-0921 札幌市中央区南21条西9丁目2-11
E-mail / info@tsuchida.or.jp
URL / http://www.tsuchida.or.jp



診療科目 外科・内科・消化器外科・消化器内科・救急科・整形外科・循環器内科・肛門外科・リハビリテーション科・放射線科・呼吸器内科・アレルギー科

病床数 一般病床/42床、療養病床/52床、地域包括ケア病床/40床

「清流の宝石」
カワセミ



当院理念

地域の安心を第一に考えた
病院づくりを目指しています。

1. 地域のみなさまから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
2. 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い専門医療を実践します。
3. 患者さん、ご家族、そして共に働く職員の気持ちに寄り添います。

色鮮やかなカワセミは翡翠(ひすい)と書き、「清流の飛ぶ宝石」と呼ばれています。高い木の枝から狙いを定め、水しぶきを立てずにダイビングキャッチです。また、川面すれすれに「チーッ!」と鳴きながら飛行、その美しい姿は見た人を虜にします。カワセミの嘴は長い流線型で抵抗が少なく、これをモチーフに新幹線(500系)の先頭の形を設計したそうです。

自然界は学び舎なのですね。

撮影と文 吉本はるみ(職員家族)

土田病院
ニュース
vol.52
2022年8月発行



病院内 スタッフの お仕事紹介

今回は「診療情報管理士」の 業務についてご紹介いたします

診療情報管理室とは、患者さんの病歴の管理を行う部署で、身近なものではカルテ管理が想像しやすいのではないのでしょうか。例えば「医師が作成した記録の中で、記載内容に間違いはないか」と言ったカルテの質的点検や、その他にも多岐に渡る業務を担っている部門です。

病歴管理

患者さんがどういった傷病名と内容で入院されたのか、入院前後の生活状況や認知症、治療内容について確認し、データ作成を行います。傷病名には一つ一つに、「ICD10コード」という傷病名に対する厚生労働省で定められたコードが割り当てられています。カルテの内容を確認して、その人に付与する傷病名の決定を行っています。

統計業務

当院で外来受診された患者さんの人数や入院された患者さんの人数を確認し、院内で統計資料として作成しています。例えば、「どの傷病名で入院された患者さんは年間を通して何名いたのか」をデータとしてグラフ化し、地域医療連携センターへの情報提供としても活用しています。

全国がん登録

院内で発生した初発のがん患者さんについて、一年を通して診断された方や疑いとなって他院へ紹介となった方の情報を、国立がん研究センターという情報機関にデータを提出するためにやっている業務です。発見経緯や、どの程度の進展度なのかを記録から読み取り、データを作成して提出を行っています。

システム管理

医師や看護師・病棟クランクがオーダーした情報を、会計へ取り込む際の紐付け作業を行います。診療報酬改定等があった際に薬剤科・検査科、必要があれば外部の業者さんと連携して、算定項目の修正を行います。この作業を行うことで算定できる可能性がある項目を会計へ取り込み、医療事務の人が正しい算定を行うことで、病院の収益へ繋がっていく業務です。

カルテ開示

患者さんが受診したときに作成した記録を、正式な書類として外部へコピーをお渡ししています。当院では原則として、患者さんご本人の同意がない場合にはカルテ開示は行っておりませんが、認知症等の症状によってご本人での判断が難しい場合には成年後見人という制度を利用される方もいらっしゃいます。

診療情報管理室では、「診療情報管理士」という資格を取得して業務を行っています。その名の通り、患者さんの「診療情報」を「管理」して、正しいデータを作成しています。作成したデータは厚生労働省へ提出することで、今後の医療内容の改正などに役立てられるものとなっています。患者さんにとってはあまり身近な部署ではなく、医療事務でもありません。これからも医事課での縁の下の力持ちになれるように勤めていきたいと思っております。



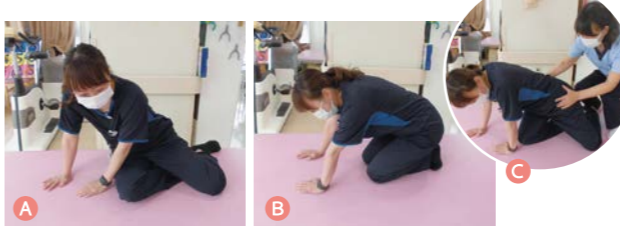
ご自宅での介護 「こんなとま」の対処方法 ②

お母さん ベッドから起き上がるのに時間がかかるな
お父さん、立ち上がるのが大変そう・・・
～介助する側もされる側も、体を痛めない方法～
介護福祉士 加藤 久美子

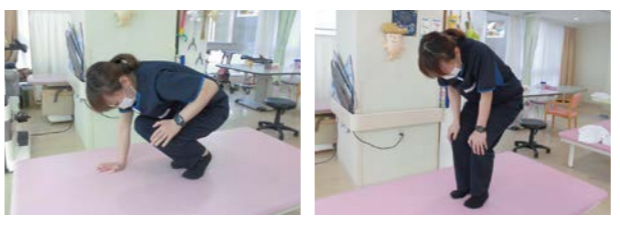
床に座り込んで 立ち上がれない時、 立ち上がりの介助方法

腕を引っ張り立たせようとしても立って互い負担になります。立つためには四つん這いの体勢になってもらうようにすると立ち上がりやすくなります。

- 1 A横座りになってもらい、足先と反対側に手をついて体をひねりながらB四つん這いの体勢になってもらいます。(一人では無理な場合はC介助者がお尻を回すようにしてあげるとこの体勢をとりやすくなります)



- 2 足を片方立て、お尻を上げながらもう片方の足を立て、膝に手をつき立ち上がります。



- 3 A介助者は骨盤を後ろから支えて、軽く持ち上げるように介助します。(B安定しているイスや台があればそこに手をつけて立つ方が立ち上がりやすいです。四つん這いになれば台があるところまでハイハイしていくこともできますね)



いずれも介助される方の力を利用したほうが介助する方も楽になります。

捕まるところが無い ベッドから 起き上がりの介助方法

- 1 まずは横向きになります。ひざは軽く曲げておきます。



- 2 A体の下になっている方の肘を立て、B上になっている方の手のひらをベッドに押し付けるようにしながら頭を横に回転させるようにし、起き上がります。(一人では無理な場合は横向き状態になった後、C介助者が首のところから手を差し入れ、肩甲骨の辺りを手のひらで支えて肘の方に重心を持っていくように手前に引き寄せてから起します)



- 3 介助される方にも肘に力を入れてもらうようにすると楽に起き上がることができます。



- 4 膝から下の部分をベッドの外へ出し座ります。

